

## □ 要請番号 (JL73018B02)

募集終了



| 国名   | 職種コード 職種 | 年齢制限 | 活動形態 | 区分 | 派遣期間 | 派遣隊次                       |
|------|----------|------|------|----|------|----------------------------|
| セルビア | G130 柔道  |      | 個別   | 新規 | 2年   | ・ 2019/1 ・ 2019/2 ・ 2019/3 |

## 【配属機関概要】

## 1) 受入省庁名 (日本語)

欧州統合省

## 2) 配属機関名 (日本語)

セルビア柔道連盟

## 3) 任地 (ニシュ) JICA事務所の所在地 (ベオグラード)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (車 で 約 3.0 時間)

## 4) 配属機関の規模・事業内容

セルビアは、ヨーロッパの柔道強豪国である。柔道連盟は国内に250の柔道クラブを有しており、90kg以下の世界王者をはじめ、世界に通用する柔道家も所属している。年間予算は約2600万円。2020年の東京オリンピックへの参加も予定されている。講道館で稽古した経験があるコーチもあり、柔道の技能だけでなく、嘉納治五郎師範の精神に強く影響を受けている。柔道クラブでは5歳程度の子供から50代以上の大人まで幅広い層が柔道を学んでおり、柔道は人気のあるスポーツである。

## 【要請概要】

## 1) 要請理由・背景

柔道連盟は各クラブの能力を向上させることによって、セルビア全体の柔道をより良いものにしたいと考えている。柔道のルーツである日本からボランティアに来てもらうことで、嘉納治五郎師範の精神に基づく価値観(道徳観)を促進し、セルビア人コーチでは伝えきれない柔道の精神を伝えてほしいと考えている。また、柔道の基礎技術の向上、日本での経験に基づく指導技術の向上も期待されている。ボランティアは柔道連盟に所属する地方大学のスポーツ教育学部をベースにした活動が想定されている。また、ボランティアの可能な範囲で、他のクラブも含む指導者向けのセミナーやワークショップも期待されている。

## 2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

- 1.同僚コーチと共に、クラブに通う生徒への指導をおこなう。
- 2.柔道の根底にある精神的な考え方、文化を伝える。
- 3.他のクラブのコーチも含む指導者に向けた指導法セミナーをおこなう。
- 4.地域の小学校の体育授業での柔道指導をおこなう。

## 3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

柔道場(20m×10m)

## 4) 配属先同僚及び活動対象者

大学コーチ 30代 男性  
セルビア代表コーチ 30代 男性  
生徒は5歳から30代 30名程度 初心者からオリンピック代表レベル。

## 5) 活動使用言語

その他

## 6) 生活使用言語

その他

## 7) 選考指定言語

### 【資格条件等】

[免許]：（ ）

[学歴]：（ ） 備考：

[性別]：（ ） 備考：

[経験]：（競技経験）10年以上 備考：同僚のレベルを考慮

[参考情報]：

- ・柔道三段以上

### 任地での乗物利用の必要性

不要

### 【地域概況】

[気候]：（湿潤大陸性気候） 気温：（-15～35℃位） [電気]：（安定）

[通信]：（インターネット可 電話可） [水道]：（安定）

### 【特記事項】

活動及び生活言語は主に現地語(セルビア語)となり赴任後に現地にて学習する。  
派遣前訓練では英語を学習する。